

評価規準の作成 生 活

小学部1段階の「ア基本的生活習慣」を取り上げて

【参考資料】

- ◆「各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨(小学校及び特別支援学校小学部並びに中学校及び特別支援学校中学部)」⇒★

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/nc/_icsFiles/afieldfile/2019/04/09/1415196_4_1_2.pdf

(小学校, 中学校, 高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)

平成31年3月29日 別紙4)



- ◆「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料(令和2年4月)」⇒☆

https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_tokubetu01-1386427.pdf



※「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料」等からの引用文の一部を
斜体・太字・赤字で強調して示している部分は, 山形県教育センターによるものです。

小学部1段階の「ア基本的生活習慣」

小学部【生活】 内容		
1段階	2段階	3段階
ア 基本的生活習慣: 食事や用便等の生活習慣に関わる初歩的な学習活動 (ア)簡単な身辺処理に気付き,教師と一緒に行動しようとする事。 (イ)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けること。	ア 基本的生活習慣: 食事,用便,清潔等の基本的生活習慣に関わる学習活動 (ア)必要な身辺処理が分かり,身近な生活に役立てようとする事。 (イ)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けること。	ア 基本的生活習慣: 身の回りの整理や身なりなどの基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動 (ア)必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり日常生活に役立てようとする事。 (イ)日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けること。
イ 安全: 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動 (ア)身の回りの安全に気付き,教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする事。 (イ)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けること。	イ 安全: 遊具や器具の使い方,避難訓練等の基本的な安全や防災に関わる学習活動 (ア)身近な生活の安全に関心を持ち,教師の援助を求めながら,安全な生活に取り組もうとする事。 (イ)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けること。	イ 安全: 交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動 (ア)日常生活の安全や防災に関心を持ち,安全な生活をするよう心がけること。 (イ)安全や防災に関わる知識や技能を身に付けること。
ウ 日課・予定:	ウ 日課・予定:	ウ 日課・予定:

知的障がいのある児童生徒の各教科等の目標・内容一覧表「生活」より

小学部1段階の「ア基本的生活習慣」

内 容	1 段階	2 段階	
ア 基本的生活習慣	食事や用便等の生活習慣に関わる初歩的な学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	食事、用便、清潔等の基本的生活習慣に関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	身 本 こ の よ
	(ア) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする事。	(ア) 必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとする事。	(
	(イ) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けること。	(イ) 身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けること。	(

評価規準の作成手順

1 「評価の観点及びその趣旨」(★参照)の確認

※ 各教科等の目標を踏まえて作成されている



2 「段階別の評価の観 points の趣旨」(☆参照)の確認

※ 段階の目標を踏まえて作成されている



3 「内容のまとめりととの評価規準」の作成

① 各教科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認する

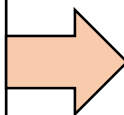
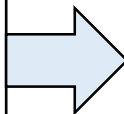
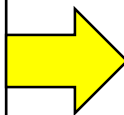
② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりととの評価規準」を作成する

評価規準の作成手順 1

～評価の観点及びその趣旨の確認～

生活の目標

知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に 気付く とともに、生活に必要な習慣や技能を 身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを 表現することができるようにする。
学びに向かう力・人間性等	自分のことに 取り組んだり 、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって 学んだり 、生活を豊かにしようとしたり する態度を養う。



評価の観点及びその趣旨

知識・技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に 気付いている とともに、生活に必要な習慣や技能を 身に付けている。
思考・判断・表現	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを 表現している。
主体的に学習に取り組む態度	自分のことに 取り組もうとしたり 、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって 学ぼうとしたり 、生活を豊かにしようとしたり している。

評価規準の作成手順 2

～「段階別の評価の観点の趣旨」の確認～

1段階の目標		評価の観点及びその趣旨	
知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心を もつ とともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付け るようにする 。	知識・技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心を もっている とともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付け ている 。
思考力・表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようと する 。	思考・判断・表現	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようと している 。
学びに向かう力・人間性等	自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって 学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う 。	主体的に学習に取り組む態度	自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって 学ぼうとしたり、生活に生かそうとしたりしている 。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

①「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係の確認

ア 基本的生活習慣

食事や用便等の生活習慣に関わる初歩的な学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 簡単な身辺処理に気づき、教師と一緒に行動すること。

(イ) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けること。

(特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 P.81)

(下線)…知識及び技能に関する内容

(長波線)…思考力、判断力、表現力等に関する内容

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「知識・技能」のポイント

- 基本的に、当該内容のまとまりで育成を目指す資質・能力に該当する指導事項(イ)について、上記①では「簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けること。」の「簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付ける」と示している部分が「知識」に該当し、評価規準は、その**文末を「～に気付いている(関心をもっている)。」**などと当該段階で求める資質・能力に基づき変更して作成することができる。また、「技能」については、「簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付ける」と示している部分が該当し、評価規準は、**「～初歩的な技能を身に付けている。」**として作成することができる。

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、
「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「思考・判断・表現」のポイント

- 基本的に、当該内容のまとまりで育成を目指す資質・能力に該当する指導事項(ア)について、その文末を教科の観点に基づき、「～について考えている。」などとして作成する。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- 当該段階目標のウの**主体的に学習に取り組む態度の「観点の趣旨」を
もとに、その文末を「～している。」**などとして、作成する。
- 評価規準の冒頭には、該当単元で指導する学習活動を**「(学習活動を入
れる)を通して、」**と明記する。

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【内容のまとまりごとの評価規準（例）】

内 容		内容のまとまりごとの評価規準	
知識・技能	簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付け ること 。	知識・技能	簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付け ている 。
思考力・判断力・表現力等	簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようと すること 。	思考・判断・表現	簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようと している 。
学びに向かう力・人間性等	※ 1段階の目標ウ参考 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたり する態度を養う 。	主体的に学習に取り組む態度	食事や用便等の生活習慣に関わる初歩的な学習活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたり している 。

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

※「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準については、前スライドの内容を踏まえた上で、当該単元で育成する資質・能力と児童の発達段階に応じて作成する。特に、児童自ら学習を調整する姿を見取ることが困難な場合もあり得るため、例えば、粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面の双方を適切に評価するため、特に、粘り強さを発揮してほしい内容、自らの学習の調整が必要となる具体的な学習活動を考えて授業を構想し、評価規準を設定することが大切である。そのうえで、児童が自分なりに様々な工夫を行おうとしているかを評価することや、他の児童との対話を通して自らの考えを修正したり、立場を明確にして話していたりする点を評価するなど、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性を高められるような工夫が求められる。